

## 統計数理研究所彙報総目次

統計数理研究所 彙報編集委員会

統計数理研究所は昭和19年6月5日創立以来、今年で40年を経過した。この機会に、これまでに研究所の研究活動の成果として定期刊行物の形で刊行されてきた「統計数理研究所彙報」およびその前身である統計数理研究所「講究録」と「統計数理研究輯報」の総目次をまとめてかかげることにする。「統計数理研究所彙報」については、これまで総目次がなかった。また、「講究録」、「統計数理研究輯報」は、騰写版印刷であり、戦中、戦後の紙質の悪い時期に刊行されている。その上、現在の研究所の図書室蔵書からみると、ごく初期に刊行された「講究録」は、戦中、戦後の困難な時代に研究所が転々と移転し、図書室の整備が十分ではなかったため研究所の成果刊行物でありながら欠号が生じ、後年研究所の諸先輩各位からの寄贈によって整備されてきた状況である。

このような次第で、創立以来の和文による研究成果刊行物の総目次を集積して一覧できる形にまとめることは、研究所の研究史をみる上で有用な資料となろう。

総目次は時間的経過とは異なり、彙報、講究録、輯報の順に記載してある。

彙報は昭和28年度以来毎年2号ずつ(9月と3月)刊行されており、昭和59年度で32巻になる。途中、記念事業等で年1回刊行の場合があるので、本号が通算No.60である。掲載された論文は300余にのぼる。その他、研究ノート、解説、計算プログラムおよび各年度研究発表会の要旨等が掲載されている。

「講究録」は創立直後の昭和19年7月15日に、佐藤良一郎、「抽取り検査ニ就テノ二、三ノ考察」(他一篇)が第1巻第1号として刊行され、昭和20年1月まで、月2回(15日と月末)の割で刊行されたが、その後、終戦前後の時期には昭和21年3月まで中断され、昭和21年3月31日発行の第15号で第1巻は終り、翌昭和21年4月から第2巻が発行されている(月2回、1日と15日)。その後、合併号等を重ね、昭和23年4月(第4巻)から月1回発行となり、昭和27年度(28年3月まで)には第8巻が刊行されている。また「統計数理研究輯報」は昭和25年9月に第1号が発刊され、第11号(昭和28年1月に刊行)まで、主として標本調査計画等、社会調査に関連する報告、大量データに関するデータ解析等の研究成果が発表されている。

この両者が統計数理研究所彙報刊行の土台となり、昭和28年度より、前記の通り彙報が発刊されることになった。

総目次は原則として刊行当時のまま再録することにした。初期のものについては旧漢字、旧かなづかいのままであるが、片カナは平がなに直した。明らかな誤りは訂正した。

また、彙報は原則として各巻1号、2号の2分冊であるが、7巻は1号のみ、12巻は創立20周年記念号である。さらに27巻、28巻も記念号(35周年)にあてたため1号のみである。

この他、「講究録」第1巻第6号は第5号と同日に発行されているので注記しておく。

この他、研究所の和文による成果刊行物として統計数理研究所研究リポートが昭和30年10月より随時刊行され、現在61号になる。研究リポートは主に調査によるデータ分析の結果およびこれらに関連する計算プログラム等の発表にあてられていることを付記する。

## 統計数理研究所彙報総目次

## 第1巻第1号 (1953年9月)

1. 彙報発刊の辞 ..... 佐々木達治郎 ..... 1
2. 分散分析の場合二つの処理平均の比較に対して及ぼす  
F-test の影響 ..... 塩谷 実 ..... 3
3. ある Biased Estimator を使用する時の注意 ..... 多賀保志 ..... 13
4. 数量化による予後の判定 ..... 崎野滋樹・巷野悟郎 ..... 17
5. 教育調査における諸問題 I ..... 青山博次郎 ..... 27
6. 社会的移動 ..... 西平重喜 ..... 33
7. ある地区ぬき抽出法による偏りに就いて ..... 林知己夫 ..... 41
8. 分布函数間の一つの距離とその応用 ..... 松下嘉米男 ..... 48
9. 二次元的散らばりを表わす統計量の分布 ..... 樋口伊佐夫 ..... 52
10. 昭和 27 年度研究発表会アブストラクト ..... 55

## 第1巻第2号 (1954年3月)

1. 統計数理の研究に就て ..... 佐々木達治郎 ..... 1
2. 態度数量化の一方法について  
——測定法と数量化理論——  
..... 林知己夫・池内 一・水原泰介・大塩俊介・佐野勝男 ..... 5
3. 層別抽出法に於ける相関係数の推定 ..... 青山博次郎 ..... 41
4. 系列現象の統計的解析—II  
株価変動の統計的解析 ..... 赤池弘次 ..... 47
5. 森林調査に於ける統計数理的問題  
..... 松下喜米男・林知己夫・石田正次・藤本 熙  
赤池弘次・宇沢弘文・植松俊夫 ..... 63

## 第2巻第1号 (1954年6月)

1. { 統計数理に関する所感 ..... 佐々木達治郎 ..... 1  
十周年に当りて ..... 松下嘉米男 ..... 2  
統計数理について ..... 林知己夫 ..... 4  
統計技術員養成所の回顧と展望 ..... 青山博次郎 ..... 7
2. 数量化理論の応用例  
——予測の判断的中率と相関比との関係についての  
一つの考察と共に——  
..... 林知己夫 ..... 11
3. Wiener 過程の P. Lévy による構成 ..... 高野金作 ..... 31
4. 症状による病名の予測 ..... 崎野滋樹・巷野悟郎 ..... 37
5. 定常確率過程に於ける  $\omega^2$ -統計量 ..... 風見秋子 ..... 43
6. 林学に於ける統計数理的省察  
——苗畝に対する農業用ビニールによる温床処理試験に

就いて (I) ——	藤本 熙	49
7. 正規母集団からとられた標本に於ける正又は負の 偏差の和の分布に就いて	塩谷 実	63
8. 黒鉛コロイド粒子の粒度分布と流体抵抗について I (実験データの解析法)	樋口伊佐夫	75
9. 層別副次抽出法の最良抽出比について	多賀保志	85
10. 測定誤差の統計的取扱い ——森林調査におけるトラバース測定の誤差の問題——	植松俊夫	91
11. Kollektiv について	鈴木雪夫	113
12. 昭和 28 年度研究発表会アブストラクト		117

### 第2巻第2号 (1954年)

1. スカラーに関する統計理論	佐々木達治郎	1
2. 数量化に於ける標本誤差	青山博次郎	3
3. 全数調査と抽出調査を併用する場合のサンプリングについて	林知己夫・多賀保志・高倉節子	11
4. 農家経済の統計的分析—I	田口時夫	25
5. 内科病歴簿に関する統計的研究—I	崎野滋樹	39
6. 農村における経済的地位について	西平重喜・田口時夫	47

### 第3巻第1号 (1955年7月)

1. テンソル量の統計の理論に就て	佐々木達治郎	1
2. 系列現象の統計的解析—III 株価と新聞内容の統計的解析	赤池弘次	3
3. 独立性の検定における $\chi^2$ -統計量の解釈	塩谷 実	27
4. 法曹人口統計—I	内田良男	33
5. 面接調査法の諸問題	西平重喜	53
6. 郵便調査法について	多賀保志	85
7. 統計数理研究所創立第 11 周年記念講演会並びに 昭和 29 年度研究発表会アブストラクト		105
8. 昭和 29 年度統計技術員養成所事業報告		127

### 第3巻第2号 (1956年3月)

1. Tromp-Curve 解析に関する注意	樋口伊佐夫	1
2. マス・コミュニケーションに関する統計的研究 ——用水事業に対する態度調査 I ——	林知己夫・青山博次郎・石田正次・西平重喜 多賀保志・堤 光臣・赤池弘次・田口時夫・植松俊夫・鈴木達三	5

### 第4巻第1号 (1956年7月)

1. マス・コミュニケーションに関する統計的研究 用水事業に対する態度調査 II		
---	--	--

- .....林知己夫・青山博次郎・石田正次・西平重喜・多賀保志  
堤 光臣・赤池弘次・田口時夫・植松俊夫・鈴木達三..... 1
2. Hotelling の  $T^2$  統計量の分布に就いて.....塩谷 実..... 33
3. 偏微積分方程式と経路積分と確率過程との関係 .....横田紀男..... 43
4. 昭和 30 年度研究発表会アブストラクト..... 73

#### 第 4 巻第 2 号 (1956 年)

1. 面接調査法の諸問題 その 2 .....西平重喜..... 1
2. 対数正規型分布函数の Laplace 変換 .....樋口伊佐夫..... 8
3. 数量化理論とその応用例 (II) .....林知己夫..... 19
4. 放射能のランダム性について .....石田正次..... 31
5. 実験計画法についての或る実験 .....橋爪茂治..... 34
6. ベクトル量の相関論に対する増山の相関係数について .....小川潤次郎..... 53

#### 第 5 巻 (1957 年)

1. 教育統計の諸問題 II .....青山博次郎..... 1
2. 回答誤差等を考慮に入れた標本調査計画 .....林知己夫..... 11
3. 数量化理論とその応用例 (III) .....林知己夫..... 27
4. リレー計算機による線型計算について .....多賀保志..... 32
5. 20 次の逆行列の計算誤差について .....青山博次郎・田中貞子..... 49
6. 追加された変数の正準相関係数に及ぼす影響 .....塩谷 実..... 52
7. 系列現象の統計的解析 IV モンテカルロ法へのリレー計算  
機の利用について .....赤池弘次・三枝八重子..... 58
8. 連続生産のための抜取検査 .....鈴木雪夫..... 66
9. 統計数理研究所記念講演会及び 31 年度研究発表会アブストラクト..... 72
10. 年度研究課題一覧 ..... 85
11. リレー計算機による X 線結晶解析の計算 .....多賀保志・飯高渉一・桜井敏雄..... 87
12. 石田式乱数作成機のランダム性について .....西平美恵子.....109
13. 面接調査法の諸問題 その 3 .....西平重喜.....115
14. 系列現象の統計的解析-V-(I) 間隔過程と繰糸工程管理 .....赤池弘次.....133
15. 系列現象の統計的解析-V-(II) 間隔過程と繰糸工程管理  
.....嶋崎昭典・坪井 恒・笠井忠久.....141
16. 分類と或る二標本検定及びその関係に就いて .....藤本 熙.....153
17. 数量化理論とその応用例 (IV) .....林知己夫.....163
18. 高次レオンチェフ行列の逆転について .....多賀保志・藤原長司.....171

#### 第 6 巻第 1 号 (1958 年)

1. 態度数量化の一方法-II .....林知己夫・高倉節子  
牧田 稔・斎藤定良..... 1
2. 労働組合におけるコミュニケーション過程について  
.....多賀保志・鈴木雪夫・大石 潔..... 41
3. 面接調査法の諸問題 その 4 .....西平重喜..... 73
4. 尺度点 (目盛り) 決定・測定標準作成における一つの

- 統計的考え方について ..... 林知己夫 ..... 87
5. 機械部品精度に及ぼす要因の解析について ..... 樋口伊佐夫・小沢 勝 ..... 95
6. 創立第13, 14周記念講演会次第と昭和32年度研究発表会  
アブストラクト ..... 100

### 第6巻第2号 (1958年)

7. 減衰振動する伝染病の伝播模型 ..... 崎野滋樹 ..... 117
8. 面接調査における偏りの統計的研究-I ..... 青山博次郎 ..... 125
9. ニュースの伝わり方 その2——皇太子妃のニュース——  
..... 西平重喜・鈴木達三 ..... 148
10. 多次元の場合の Range について ..... 塩谷 実 ..... 155

### 第7巻第1号 (1959年)

1. 十五周年記念日を迎えて ..... 末綱恕一 ..... 1
2. 一般統計推論から(そのI) ——信頼度について—— ..... 松下嘉米男 ..... 3  
一般統計推論から(そのII)  
——ノン・パラメトリックな問題について—— ..... 藤本 熙 ..... 9  
一般統計推論から(そのIII)  
——統計的決定函数—— ..... 松下嘉米男 ..... 17
3. 統計の基礎に関する Fisher の立場と Neyman の立場  
..... 石田正次・植松俊夫・崎野滋樹 ..... 23
4. 数量化と予測に関する根本概念 ..... 林知己夫 ..... 43
5. 確率過程に関する統計理論の発展の方向について ..... 赤池弘次 ..... 65
6. 統計における模型解析について ..... 樋口伊佐夫・横田紀男・鈴木雪夫 ..... 81
7. 統計数理的立場よりみたるオペレーションズ・リサーチ ..... 青山博次郎 ..... 93
8. 社会調査について  
——統計数理研究所と社会調査—— ..... 西平重喜・鈴木達三 ..... 101
9. 統計解析における線型計算 ..... 多賀保志 ..... 109
10. チェビシェフ型不等式について ..... 石井恵一 ..... 123
11. 創立第15周年記念講演会次第及び昭和33年度研究発表会  
アブストラクト ..... 145

### 第8巻第1号 (1960年)

1. 多段抽出における標本平均の分散について ..... 大石 潔・多賀保志 ..... 1
2. 機能と構造に関する統計的関係とその方法について ..... 田口時夫 ..... 13
3. 日本における資本の諸集中形態と構造分析の方法としての  
ローレンツ・カーブについて(そのI) ..... 田口時夫 ..... 23
4. Greenstadt 法を利用した代数方程式の解法について  
..... 多賀保志・駒澤 勉 ..... 39
5. 態度数量化の一方法 II の訂正 ..... 林知己夫・高倉節子 ..... 45
6. 人類における遺伝形質の不規則性についての解釈 ..... 橋爪浅治 ..... 47
7. 創立第15, 16周年記念講演会次第及び昭和34年度  
研究発表会アブストラクト ..... 75

## 第8巻第2号 (1961年3月)

8. 多変数解析論の最近10年間における歩み……………塩谷 実………… 95
9. 教育統計における諸問題 III  
——因子分析法の応用—— ……………青山博次郎…………143
10. 数量化理論とその応用例 (V) ……………林知己夫…………149
11. 組織的統計教育確立の急務 ……………小川潤次郎…………153

## 第9巻第1号, 第2号 (1961年11月, 1962年3月)

1. 捕かく一再捕かく法の一モデル ……………高橋宏一………… 1
2. 市場調査における統計的方法 I ……………青山博次郎・千野貞子………… 7
3. 数量化理論とその応用例 (VI) ……………林知己夫………… 29
4. 視覚の閾値光量子数に関する Bouman-Velden-山本の  
関係式について ……………池田貞雄………… 37
5. 創立第17周年記念講演会次第及び昭和35年度研究発表会  
アブストラクト …………… 47
6. 交通制御の問題の統計数理的解析 (I) ——系統式の信号機系列に対する,  
信号のフェイズの個別的に Optimum な設定について——  
……………植松俊夫・袖崎淑子………… 61
7. 数量化に依る分類の問題 ——イネ属を素材として——  
(数量化理論とその応用例 (VII)) ……………高倉節子………… 81
8. 定常確率過程の移動平均表現についての注意 ……………藤井光昭…………107
9. 吸収間隔の漸近的独立性とその近似分布について  
(“視覚の閾値光量子数に関する Bouman-Velden-山本の  
関係式について”への補足) ……………池田貞雄…………113
10. 総合報告  
エビデミック・モデルの歴史的発展: その1  
(デターミニスチック・モデル) ……………崎野滋樹…………127

## 第10巻第1号, 第2号 (1962年12月, 1963年3月)

1. ラテン方格配置における無作為化について ……………小川潤次郎………… 1
2. ローレンツ・カーブに基づくより有機的な理論の創造と  
実践のための準備 ……………田口時夫………… 17
3. エピデミックに於ける age distribution について ……………崎野滋樹………… 33
4. 交通制御の問題の統計数理的解析 (II)  
—— Optimum な系統式信号設定について—— ……………植松俊夫・袖崎淑子………… 41
5. 創立18周年記念講演会次第及び昭和36年度  
研究発表会アブストラクト …………… 67
6. 回帰係数に関する同時信頼区間について ……………塩谷 実・川上尚子………… 79
7. 清酒を素材とした味覚判断に関する統計的研究  
——予備実験に関する報告—— ……………塩谷 実・吉田 薫・川上尚子  
野白喜久雄・川島 宏・佐藤 信………… 99
8. 団体到着, 団体 Service の queuing system について ……………二宮理意…………119

9. 行為決定モデルについての一注意 ……………林知己夫……129

### 第11巻第1号, 第2号 (1963年8月, 1964年3月)

1. 比推定と回帰推定について ……………多賀保志…… 1
2. 数量化による予測的中率と相関比との関係について ……………千野貞子…… 7
3. エピデミックに於ける age distribution とポリオの予測について  
……………崎野滋樹…… 25
4. 分類について—1. 二群への分類 ……………藤本 熙…… 31
5. 創立第19周年記念講演会次第及び  
昭和37年度研究発表会アブストラクト…………… 39
6. 名寄せのためのサンプリング ……………林知己夫…… 49
7. 順位を基礎とする統計学の数学的方法の  
ある種の体系化について ……………田中時夫…… 63
8. 日本の企業における OR 活動の実態調査 ……………青山博次郎…… 77
9. 国民性の研究  
——第III次全国調査について—— ……………鈴木達三……105

### 第12巻創立20周年記念号 (1964年12月)

- 創立20周年記念祝賀会にて……………末綱恕一…… 1
- 創立20周年記念講演会
- 統計と計算システム ……………石田正次…… 2
- 通信工学における統計的方法 ……………宮川 洋…… 5
- 統計的にみた交通問題 ……………林知己夫…… 6
1. 予測に関する実証的研究 ——選挙予測の方法論——  
……………林知己夫・高倉節子…… 9
  2. 在庫管理モデルにおけるパラメータの鋭敏性 ……………青山博次郎…… 87
  3. 社会調査法の諸問題 その5 ……………西平重喜……103
  4. 密度函数の統計的推定について ……………赤池弘次……117
  5. パターンの認識について ——臨床心電図の自動的解読—— ……………二宮理憲……133
  6. 細胞集団の変動の統計的解析法 I ……………高橋宏一・石田説而  
岩佐三郎・黒川正身……139
  7. 面接調査における回答誤差 ……………鈴木達三……149
  8. 経済時系列の季節調整に関する問題点とそれに関する  
一, 二の考察 ……………石田正次……161
  9. Wishart 行列の関数の漸近分布 ……………塩谷 実・早川 毅……191
  10. 交通制御の問題の統計数理的解析 III ……………植松俊夫……199
  11. 装置の信頼性モデル ……………多賀保志……217
  12. 一様確率収束について ……………鈴木雪夫……221
  13. 平均値のまわりの絶対モーメント I ……………鈴木義一郎……225
  14. Electron-Photon カスケードの確率モデル ……………崎野滋樹……243
  15. 固有値解法の一工夫について ……………駒澤 勉……263
  16. 分類について II ……………藤本 熙……273
  17. 住宅の損耗度実態調査における統計的問題

.....	鈴木達三・高橋宏一	277
18. パレート分布とパレート曲線の分析	田口時夫	293
19. 粒子統計における二三の研究	樋口伊佐夫	315
昭和 38 年度研究発表会アブストラクト		349

### 第 13 卷第 1 号, 第 2 号 (1965 年 8 月, 12 月)

1. ダミー変数と数量化法への応用	青山博次郎	1
2. 大学における統計教育に関する実情 (実態調査)	内田良男	13
3. 平均値のまわりの絶対モーメント II	鈴木義一郎	63
4. 昭和 39 年度研究発表会アブストラクト及び 創立 21 周年記念講演会		71
5. 或る種の行列の正值性とその Convexity について	早川 毅	87
6. 都心通勤者調査と通勤におけるコース選択要因の解析	植松俊夫	93
7. ダミー変数と数量化法への応用の訂正	青山博次郎	135
8. 昭和 40 年度研究発表会アブストラクト		139

### 第 14 卷第 1 号, 第 2 号 (1966 年 10 月, 12 月)

1. 森林調査におけるビッテルリッヒ法と統計数理 角度測定法に関する研究	大友栄松	3
電子計算機によるビッテルリッヒ法のシミュレーション	高田和彦	17
一致高和について	北村昌美	23
角度測定法の応用について	西沢正久	29
統計的立場からみたビッテルリッヒ法	石田正次	47
2. 確率過程における最適時点サンプリング	多賀保志	59
3. 動く調査対象集団に対する標本調査について-I ——野兎数推定をめぐる——	林知己夫・石田正次・大石典子 高田和彦・豊島重造・羽田清五郎・堀口竜猛	63
4. 回答の信頼性	野田一雄	87
5. 研究成果の評価に関する統計的研究	内田良男	97
6. 順位相関係数・順位の和に関する二, 三の計算結果 .....	高橋宏一・駒澤 勉	119
7. Kolmogorov-Smirnov の極限定理について	加地紀臣男	127
8. 昭和 41 年度研究発表会アブストラクト		149

### 第 15 卷第 1 号, 第 2 号 (1967 年 6 月, 12 月)

1. Dirichlet 分布について	早川 毅	1
2. 分枝輸送過程について	今井晴男	11
3. 診断における統計的方法	二宮理憲	23
4. 非標本誤差—サンプリング台帳の精度—について	大石 潔	27
5. ノン・パラメトリックな (連続分布の) 適合度検定に用いられる 統計量のあるクラスについて	鈴木義一郎	47
6. Gramér-von Mises-Smirnov 型適合度検定について	橋本智雄	71
7. 態度変化のモデル	青山博次郎	97



8. 測定値誤差・測定値変動と相関分析  
——医学におけるデータ処理の一特性—— ……………林知己夫・福田安平  
細谷亮子・林 文…………107
9. エピデミックにおける Age Distribution (II) ……………崎野滋樹…………126
10. “Composition and Rejection”法に関する注意 ……………志村利雄…………134
11.  $n$ 元度数分布の数量化について ……………京極純一…………140
12. Galton-Watson 過程の消滅までの世代数分布のモーメント  
と分布例 ……………志村利雄・高橋宏一…………161

### 第16巻第1号, 第2号 (1968年8月, 12月)

1. 競争システムにおける統計 ——イタリー学派の展望—— ……………田口時夫………… 1
2. Mutation の確率モデル ……………崎野滋樹………… 39
3. 面接調査における回答の安定性について ……………鈴木達三………… 47
4. パネル調査結果分析のための一致指数 ……………鈴木達三・高橋宏一…………103
5. 昭和42年度研究発表会アブストラクト ………………………109
6. 動く調査対象集団に対する標本調査について-II  
——野性化した家兎に対する統計調査, 捕獲一再捕獲法の  
検討のために—— ……………林知己夫・石田正次・飯塚太美雄  
林 文・豊島重造・高田和彦・河野憲太郎…………121
7. Random ベクトルの和の長さの分布について  
(3次元と2次元の場合) ……………脇本和昌…………133
8. 一般超幾何分布 ……………清水良一…………147
9. Strand 法の測線方向について ……………石田正次…………167
10. 種類(クラス数)の推定  
——パラメーターの巾和を用いる方法 ……………志村利雄…………175

### 第17巻第1号, 第2号 (1969年10月, 1970年3月)

1. (flow) ( $T_i$ ) の混合性のスペクトル特徴付け ……………窪川義広………… 1
2. 動く調査対象集団に対する標本調査について-III  
——野兎生息個体総数推定のための足跡調査と分析——  
……………林知己夫・石田正次・大石典子・林 文  
飯塚太美雄・豊島重造・高田和彦・河野憲太郎  
飯久保巍・堀口龍猛・伊藤弘康………… 5
3. 最適平面配置法について-I ……………青山博次郎………… 23
4. 社会調査法の諸問題 その6 ……………西平重喜………… 39
5. マイクロ波回線の熱雑音に関する統計的研究-I ……………樋口伊佐夫・森田和夫………… 51
6. 昭和43年度研究発表会アブストラクト及び講演会………… 74
7. Zipf 法則についての覚え書き  
——言語人口密度分布の一特徴—— ……………田口時夫………… 83
8. 動く調査対象集団に対する標本調査について-IV  
——野兎の行動範囲に関するコンピュータ・  
シミュレーション—— ……………林知己夫・駒澤 勉………… 91
9. 平均1の Galton-Watson 過程の箇数分布の漸近形 ……………今井晴男………… 99

10. 一般逆行列 I ..... 渋谷政昭 ..... 109
11. 日程計画問題の“目の子式”解法 ..... 能城昌子 ..... 133
12. 調査における回答の機構について ..... 鈴木達三・高橋宏一 ..... 139
13. 測定誤差・測定値変動と相関分析補遺  
..... 林知己夫・福田安平・細谷亮子・林 文 ..... 175

### 第18巻第1号, 第2号 (1970年11月, 1971年7月)

- 未綱怨一先生への追悼のことば ..... 1
1. 待ち一在庫模型についての考察(1) ..... 牧野都治 ..... 7
2. 2重突然変異における消滅確率について ..... 崎野滋樹 ..... 35
3. ブロック配置における無作為化に就て ..... 小川潤次郎 ..... 41
4. 最適平面配置法について-II ..... 青山博次郎・千野貞子・十倉淳子 ..... 55  
昭和45年度研究発表会アブストラクト ..... 67
5. ある最適多重層化二段抽出法について ..... 田口時夫 ..... 77
6. 5通りの二段抽出法における標本平均値の偏りと標本抽出分散の  
評価のためのコンピュータ・シミュレーション  
..... 橋爪浅治・国枝玲子・高宮義雄・杉山明子  
村瀬久子・中嶋千春 ..... 91
7.  $n$ 元度数分布の数量化・補遺 ..... 京極純一 ..... 111
8. 社会調査の妥当性 ..... 野田一雄 ..... 117

### 第19巻第1号, 第2号 (1972年3月, 1972年7月)

1. 回帰行列に関する同時信頼区間 ..... 塩谷 実 ..... 1
2. 動く調査対象集団に対する標本調査-V  
——一羽の野兎の一夜の間に走る足跡延長をRST-法と  
コンピュータ・シミュレーションによって推定する方法——  
..... 林知己夫・駒澤 勉 ..... 15
3. 二次元集中曲面の局所的性質 ..... 田口時夫 ..... 29
4. 待ち一在庫模型についての考察(2) ..... 牧野都治 ..... 45  
昭和45年度研究発表会アブストラクト ..... 91
5. 制御と状態推定の分離 ..... 今井晴男 ..... 101
6. 野鳥総数推定のための統計数理的方法  
..... 青山博次郎・志村利雄・逆瀬川浩孝・浦本昌紀  
桜井一夫・崎野滋樹・脇本和昌 ..... 109
7. 大脳周波数応答等高線図の電子計算機による  
自動描記について ..... 二宮理憲 ..... 121
8. 動く調査対象集団に対する標本調査について-VI  
——野兎の行動範囲に関する新しいモデルによる  
コンピュータ・シミュレーション—— ..... 林知己夫・駒澤 勉 ..... 149
9. 交通違反における重みづけの問題 ..... 植松俊夫 ..... 159

### 第20巻第1号, 第2号 (1972年11月, 12月)

1. ある最適多重層化二段抽出法について

- 昭和45年国富調査法人，個人企業資産調査における  
標本設計の理論と実際 (II) —— ……………田口時夫…… 1
2. 人員計画のOR  
——高校生の職業選択意識調査から—— ……………牧野都治…… 23
3. 数量化理論とその応用例 IX  
—— $e_{ijk}$ 型数量化とそのコンピュータ・プログラム——  
……………林 文…… 35
4. 動く調査対象集団に対する標本調査-VII  
——一羽の野兎の行動距離の調査について——  
……………林知己夫・石田正次・駒澤 勉・林 文  
松井しおり・豊島重造・高田和彦・上田明一  
柴田義春・丹羽口徹吉・斎藤昌宏…… 45
5. 平均の推定に於ける近似変動係数の利用 ……………平野勝臣…… 61
6. 態度数量化の一方法 III  
——POSA・MSAと数量化の方法—— ……………林知己夫・林 文…… 65
7. 二次元離散型分布の集中多面体，集中係数及び新たな各種  
相関係数について——企業集中の多次元的解析法—— ……………田口時夫…… 77
8. 動く調査対象集団に対する標本調査-VIII  
——RST法とベイズ推定——……………林知己夫・駒澤 勉……117

#### 第21巻第1号，第2号（1973年12月，1974年2月）

1. ある最適多重層化二段抽出法について (続)  
——法人資産調査のための将来計画と昭和45年国富調査  
国有財産調査における標本設計—— ……………田口時夫…… 1
2. 状況的決定理論 I ……………松原 望…… 23
3. 航空機騒音のうるささの数量化-I  
——騒音の指標 PAANI の作成——  
……………林知己夫・林 文・児玉 省・近藤 暹…… 37
4. 社会調査における回答変動の解析 ……………鈴木達三・高橋宏一…… 69
5. 比較文化研究に対する一つの統計的分析の試み I  
——日本人の国民性とハワイ日系人—— ……………鈴木達三……125
6. 比較文化研究に対する一つの統計的分析の試み II  
——態度数量化の一方法 IV——……………林知己夫……173
7. 景気指標と市民の景気感 ……………坂元慶行……183
8. 電子計算機による統計教育の一方法 ……………二宮理意……197
9. 態度数量化の一方法 III 補遺  
——POSA・MSAと数量化の方法—— ……………林知己夫・林 文……227

#### 第22巻第1号，第2号（1974年11月，1975年3月）

1. 経済統計における分布と分配構造の解析法の研究  
——ノルム  $\rho$  をもつ統計とベクトル値確率の  
基礎概念—— ……………田口時夫…… 1
2. SCPの安全性に関する統計学的考察 ……………柳本武美…… 45

3. ランダム回答法における繰返しの影響と有限母集団修正について  
 .....逆瀬川浩孝・高橋宏一..... 59
4. 森林の保全と自然環境の変化に関する統計的研究  
 ——天然林の生長モデルとそのコンピュータシミュレーション(その1)——  
 .....石田正次..... 69
5. 日本における法人企業の標本抽出法について  
 ——ある不等確率抽出法における最適抽出率に  
 関する一考察—— .....田口時夫..... 87
6. 新聞レイアウトの統計的研究 .....千野貞子.....119
7. 動く調査対象集団に対する標本調査について-IX  
 ——方探測定誤差に基づく位置決定誤差: 小型無線機を  
 装着した野兎の行動範囲決定のための基礎—— .....林 文.....167
- 第23巻第1号, 第2号 (1975年7月, 1976年3月)**
1. 野鳥総数推定のための統計数理的方法 II  
 .....青山博次郎・逆瀬川浩孝・志村利雄..... 1
2. 水島工業地帯の公害に対する住民の意識調査  
 .....杉山高一・清水恵子・大森健三..... 73
3. 生存競争のモデルとシミュレーション .....伊藤栄明・上田澄江..... 93
4. 船の保針運動の統計的制御 .....北川源四郎・大津皓平.....105
5. 待ち行列タイプの問題に対するパレート分析 .....牧野都治.....129
6. 最も有効確率抽出法と回帰関数比例確率抽出法 .....田口時夫.....135
- 第24巻第1号, 第2号 (1976年12月, 1977年3月)**
1. ランダム回答法における二, 三の注意  
 ——クロス集計にもとづく推定の精度, 偽答・D.K. の  
 影響, 補助質問使用の問題—— .....鈴木達三・高橋宏一・逆瀬川浩孝..... 1
2. 人口密度の距離関係の試験的計測  
 ——首都圏における人口分布のドーナツ化現象の  
 統計的解析—— .....田口時夫..... 15
3. 変形二項分布モデル  
 ——可変な成功率を有するベルヌーイ試行—— .....鈴木義一郎..... 41
4. 刑事訴訟の決定理論的モデルと危険率・  
 有罪率の考察 .....松原 望..... 47
5. パタン認識の制御への応用 .....石黒真木夫..... 59
6. 心臓調律の統計的モデル .....馬場康維..... 73
7. ランダム化器具を用いないランダム回答法の  
 実験的調査結果について .....逆瀬川浩孝・高橋宏一・鈴木達三..... 79
8. 大気汚染の実態と住民意識との関連分析  
 ——その基礎的考察—— .....鈴木達三・大隅 昇・高橋和子..... 95
- 第25巻第1号, 第2号 (1978年3月)**
1. 確率法則を満たさない集合のハウスドルフ次元 .....長坂建二..... 1

2. 正規母集団からの打ち切り標本による信頼区間について	二ツ矢昌夫・高橋宏一	11
3. 一次元ランダムバックキングモデル ——参議院全国区得票率分布への適用例——	伊藤栄明・上田澄江	23
4. 安全基準としての閾値とホッケー・スティック回帰法	山本英二・竹島克朗・柳本武美	29
5. 数値的地域区分法: NTAP	大隅 昇・渋谷政昭	41
6. 水準移動仮説に対するノンパラメトリック検定	鈴木義一郎	65
7. Sylvester の問題	前原 潤	81
8. 不整脈の計量診断 ——RR 間隔の統計的解析——	馬場康維・駒澤 勉・村上征勝・加藤貴雄	87
9. スターリングの公式をめぐる	松縄 規	107
研究ノート		
校務分掌策定のための一方法	青山博次郎	117

### 第26巻第1号, 第2号 (1979年3月, 5月)

1. 分布の特性の表現に対するパレート図の利用について	牧野都治	1
2. 都市火災の延焼確率と延焼シミュレーション	佐々木弘明・神 忠久	11
3. ある種の Dependent Outlier を含む確率模型 ——大相撲における星取表分布の統計解析——	鈴木義一郎	23
4. 動く調査対象集団に対する標本調査-X ——仕切り法・ピュッフォンの針の応用——	林知己夫・林 文 豊島重造・斎藤昌宏・柴田義春	67
5. Amoroso 型所得分布の解析 ——一般化ガンマ分布とローレンツ曲線の一般化——	田口時夫	81
6. 二次元の石けん泡に対する格子模型	種村正美	107
7. 数量化 II 類の解法について	仁木直人	115
8. 部分集団の選別のベイズ決定方式について	野田一雄	125
9. 正規分布の標準偏差に対する簡便不偏推定法	鈴木義一郎	133
研究ノート		
1. 著者推定問題における統計的手法	村上征勝	33
2. カール・ピアソン ——人と社会と統計学——	安藤洋美	45

### 第27巻第1号 (1980年3月)

1. 創立 35 周年記念号発刊に当って	林知己夫	1
2. 統計的推論のパラダイムの変遷について	赤池弘次	5
3. 中心が推定された場合における Cramér-von Mises 型の 対称性の検定統計量の漸近分布	安芸重雄	13
4. 検定推定量の有意水準 ——2 標本に基づく分散の推定——	平野勝臣	23
5. 部分母集団の選別に関するベイズ決定関数	野田一雄	35

6. 変動係数の分布の近似とその評価 .....牛沢賢二..... 45
7. 非対称一般化誤差分布について .....田口時夫..... 53
8. 用量・反応モデルの下での安全係数の性質 .....柳本武美・坂本淑子..... 55
9. 野鳥の鳴声 .....青山博次郎..... 63
10. ヨーロッパ議会選挙の方法と結果 .....西平重喜..... 71
11. 実用的重判別法について .....駒澤 勉..... 89
12. 局所定常自己回帰モデルによる適応制御系の実現  
.....北川源四郎・赤池弘次・大津皓平..... 95
13. 擬似乱数の発生アルゴリズムとその検定 .....逆瀬川浩孝.....107
14. 工学的乱数発生 .....仁木直人.....115  
「部分集団の選別のベイズ決定方法について」の訂正と補足.....野田一雄.....133

### 第28巻第1号（1981年3月）

1. 離散分布の場合のノンパラメトリックなある2-標本問題 .....藤本 熙..... 1
2. カテゴリカルなデータにおける正準相関分析  
——特性グループ間の相関に基く数量化—— .....仁木直人..... 13
3. 非線型振動現象と時系列モデル .....尾崎 統..... 27
4. 角度データの統計 ——Wrapped Normal 分布モデル——  
.....馬場康維..... 41
5. 立体視の適用例 ——微分方程式の解の動きと主成分分析結果の解釈——  
.....伊藤栄明・上田澄江..... 55
6. カモメ類の巣配置パターンのモデル化 .....種村正美・長谷川政美..... 61
7. ウミネコの生態調査 I .....長谷川政美・種村正美・樋口伊佐夫..... 79
8. ウミネコの生態調査 II ——巣の配置の地図作成——  
.....樋口伊佐夫・種村正美・小山田和枝・長谷川政美..... 99
9. 分類系統樹の性質とその比較評価方式 .....大隅 昇・中村 隆.....117
10. カテゴリカルデータにおける変数選択  
——プログラム CATDAP を中心に—— .....坂元慶行.....135

### 第29巻第1号, 第2号（1981年10月, 1982年5月）

1. 決定問題におけるリグレット・レリーフ比基準の適用例 .....村上征勝..... 1
2. 発癌性を評価するモデルと適用例 .....柳本武美・鎌倉稔成..... 11
3. 信頼性試験における寿命試験抜取方式とパラメータ推定 .....鎌倉稔成..... 25
4. 依存関係によるソシオグラムの構成  
——「主要相手国別輸出入」への適用—— .....岸野洋久..... 37
5. 分布の逆関数の数値計算に関する一注意 .....佐藤定夫..... 45
6. 統計学の新しい兆し ——データ解析志向としての—— .....林知己夫..... 53
7. 説明変数の配置構造の探索 .....川合伸幸..... 63
8. 視聴覚的情報検索システムの時系列情報処理への適用 .....濱田義保..... 71
9. ベイズ型コウホート・モデル  
——標準コウホート表への適用—— .....中村 隆..... 77
10. 誤差分散の巾乗不均一性と二段階最小二乗推定 .....鈴木義一郎..... 99
11. カイ二乗分布をめぐって .....松縄 規.....109

## 第30巻第1号, 第2号 (1982年11月, 1983年3月)

1. 圃場試験に於ける地力の推定 ..... 柏木宣久 ..... 1
2. Lorenz 曲線に関連した特性値と裾の重さをあらかず測度の推定  
——対数正規分布の場合—— ..... 清水邦夫 ..... 11
3. ベイズ型スプライン回帰 ..... 石黒真木夫・荒畑恵美子 ..... 29
4. 非結合的代数によるランダムな衝突モデルの表現 ..... 伊藤栄明 ..... 55
5. ベクトル変換を用いた数量化法 ..... 馬場康維・脇本和昌 ..... 67
6. 最小二乗法における Givens 法と Householder 法について ..... 田中輝雄 ..... 77
7. ABC 分析とその区分線の設定 ..... 牧野都治 ..... 95

## 研究ノート

- ある生物化学の現象解析のモデルと分布に関する覚え書 ..... 樋口伊佐夫 ..... 37

## 第31巻第1号, 第2号 (1983年)

1. 二変量パレート分布の集中解析  
——構造統計量の提案—— ..... 田口時夫 ..... 1
2. パーソナル・コンピュータのための物理乱数発生器 ..... 仁木直人 ..... 33
3. 自己回帰過程におけるロバスト推定 ..... ハンス・ルドルフ・クンシュ ..... 51
4. 確率的死亡モデルと応用 ..... 鎌倉稔成・柳本武美 ..... 107
5. 系列データに対する単回帰モデルの適合性を診断する手法とその適用  
..... 柳本武美・柳本正勝 ..... 117

## 研究ノート

1. 多次元立方体の離散的ランダムパッキングによる充填率について  
..... 伊藤栄明・上田澄江 ..... 65
2. 比例代表制の確率論的分析 ..... 赤池弘次 ..... 129
3. 日本における意識動向の新たな断面  
——人間関係観を中心として—— ..... 坂元慶行 ..... 133

## 解 説

- 非線形確率微分方程式の厳密解法 ..... 濱田義保 ..... 151

## 計算プログラム

1. 最適制御系設計のための SQUARE ROOT ALGORITHM ..... 北川源四郎 ..... 71
2. APL 未組み込み演算の代替処理 ..... 仁木直人 ..... 159

## 統計数理研究所研究活動

- 1982年度研究発表会要旨 ..... 81

## 創立記念講演会要旨

## 微小地震をとらえる

- 時系列モデルによる自動検出—— ..... 北川源四郎 ..... 175

- なわばりのパターンを測る ..... 種村正美 ..... 179

## 算術平均についての極限理論

- 渡辺孫一郎と A.A. マルコフの業績—— ..... 清水良一 ..... 183

## 第32巻第1号, 第2号 (1984年)

- 40周年を記念する号発刊に当って ..... 林知己夫 ..... i

1. 2母数指数分布の尺度母数に対する検定推定量の最適有意水準	平野勝臣	1
2. 順位のグラフ表現法とその応用	馬場康維・脇本和昌・遠藤紀久雄 金子 武・飯田 豪・野中敏雄	15
3. 多重 $2 \times 2$ 分割表における共通標準差について	山本英二・柳本武美	25
4. 確率の解釈における困難について	赤池弘次	117
5. 非線形力学系の局所線形化と時系列モデル-I	尾崎 統	129
6. 非対称な確率分布の正規近似	清水良一・湯浅扶子	141
7. 多変量統計量の正規化・分散安定化変換	小西貞則	159
8. $2 \times 2$ 分割表に対するモデルの図式表現と潜在構造分析	鈴木義一郎	173
9. 分枝限定法によるミニマックス決定方式の探索	村上征勝・中島詞子	197
研究ノート		
1. エントロピ・情報・統計	松縄 規	207
2. 有限体での演算と多次元擬似乱数	仁木直人	231
解 説		
1. 比例ハザードモデルのパラメータの推定量の比較	鎌倉稔成・柳本武美	35
2. 非定常スペクトル解析について	田村(濱田)義保	45
3. ミトコンドリアDNAの分子時計 ——人類の起原と進化——	長谷川政美・岸野洋久・矢野隆昭	59
4. 地球潮汐データ解析 ——プログラムBAYTAPの紹介——	石黒真木夫・佐藤忠弘・田村良明・大江昌嗣	71
計算プログラム		
AR-モデルにおけるロバスト推定のプログラム	H.R. Künsch	241
統計数理研究所研究活動		
1983年度研究発表会要旨		87
特別研究員研究報告		
予測変量として連続変量と離散変量の混在を許す判別分析法	高根芳雄	261
統計数理研究所彙報総目次		265